

(8) 経管栄養「実地研修」
半固形化栄養剤による胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養 指導者評価票

演習において、当該介護職員は下記業務内容について、どの程度達成できていますか。
 ※業務内容については、手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと

氏名：

達成度	ア. 手引きの手順通りに実施できている。
	イ. この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた。
	ウ. この項目について、抜かした。

		指導者氏名（終了時にフルネームでサイン）					
		回数	(1)回目	()回目	()回目	()回目	()回目
		月日	10/5				
		時間	14:00				
準備	1	医師の指示等の確認を行う	ア				
	2	手洗いを行う	ア				
	3	必要な物品を準備する	ア				
	4	指示された栄養剤（半固形化栄養剤）の種類・量・温度・時間を確認する	ア				
	5	半固形化栄養剤の注入準備を行う	ア				
	6	準備した半固形化栄養剤を利用者のもとに運ぶ	ア				
実施	経管栄養の実施	7	利用者に本人確認を行い半固形化栄養剤の経管栄養の実施について説明する	ア			
		8	注入する半固形化栄養剤が利用者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する	ア			
		9	経管栄養チューブに不具合がないか確認し、確実に接続する	ア			
		10	注入を開始し、注入直後の様子を観察する	ア			
		11	注入中の表情や状態を定期的に観察する	ア			
		12	挿入部からの栄養剤（半固形化栄養剤）のもれを観察する	ア			
		13	注入中の利用者の状態（気分不快、腹部膨満感、おう気・嘔吐等）を観察する	ア			
		14	注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する	ア			
		15	半坐位の状態を保つ	ア			
報告	16	利用者の状態を食後しばらく観察し、看護職員に報告する	イ				
	17	体位変換が必要な利用者に対しては、異常がなければ体位変換を再開する	ア				
	18	ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）	ア				
片づけ	19	使用物品を速やかに後片づけする	ア				
記録	20	ケアの実施の証明および今後のケアプランに活用できるように記録する	ア				
アの個数※			19				
※ 指導内容を具体的に記述してください 手引きの留意事項・考えられる主なリスク等に 記載されている細目レベルで記述							

※ は、記載例です。